



確かな品質

Reliable
Quality



巧みな技

Skillful
Technique



ニーズに沿った
「ものづくり」

Manufacturing

Abrasive Blast

Since 1978

OKA**AKI**
Abrasive Blasting

会 社 情 報

会社概要	
社 名	岡垣興業株式会社
所 在 地	福岡県宮若市沼口 1367-1 TEL 0949-52-2516 FAX 0949-52-2529
設 立	昭和 53 年 01 月
資 本 金	5,000 万円
事業種目	サンドブラスト加工・重防食塗装・製缶・板金・自動車運送取扱業・倉庫業・その他の業務
事 業 所	本社工場 福岡県宮若市沼口 1367-1 TEL 0949-52-2516 FAX 0949-52-2529 MAIL mail.wh@okagaki.co.jp 熊本工場 熊本県玉名郡和水町久井原 899 TEL 0968-86-4755 FAX 0968-86-4746 MAIL mail.kf@okagaki.co.jp 有明事務所 熊本県玉名郡長洲町大字有明 1 番地（ジャパンマリンユナイテッド(株)敷地内）
取引銀行	福岡銀行・西日本シティ銀行・北九州銀行・日本政策金融公庫
主要取引先業界	造船・銅製型枠・精密加工・総合電機加工・自動車電装 鉄鋼・ソーラー製造・ゴム製品製造加工他
関連会社	株式会社 オカガキ（物品販売業）

会社沿革

1978

（昭和 53 年）

1 月

岡垣運送街の出資会社として、資本金 500 万円にて会社設立

1987

（昭和 62 年）

9 月

宮若市に本社工場を新設（17,000 m²） 操業を開始

1990

（平成 2 年）

10 月

資本金を増資し、4800 万円とする

1992

（平成 4 年）

10 月

資本金を増資し、5000 万円とする

1999

（平成 11 年）

7 月

本社工場敷地内に第 2 倉庫新設

2002

（平成 14 年）

11 月

本社工場敷地内に第 3 倉庫新設

2006

（平成 18 年）

10 月

タワークレーンメンテナンス作業開始

2009

（平成 21 年）

1 月

ジャパンマリンユナイテッド株式会社
（旧ユニバーサル造船）と取引開始

2014

（平成 26 年）

1 月

精密成形加工品ブラスト加工開始

2016

（平成 28 年）

4 月

熊本工場敷地内に第 2 工場新設（造船増産体制対応）、
㈱名村造船所艤装品受入開始

1983

（昭和 58 年）

4 月

資本金 1000 万円にし、本社を岡垣町に移転

1988

（昭和 63 年）

1 月

有限会社から組織変更し、株式会社とする。
資本金を増資し 3500 万とする

1991

（平成 3 年）

6 月

岡垣町から宮若市へ本社を移転。
岡垣工場と若宮工場を合併し、
本社工場とする

1994

（平成 6 年）

1 月

熊本県玉名郡和水町に熊本工場を新設
（工場用地 36,000 m²）

2001

（平成 13 年）

4 月

熊本工場敷地内に倉庫を新設

2003

（平成 15 年）

2 月

産業廃棄物処分場建設に伴う
3 層遮水シート製作開始

2007

（平成 19 年）

3 月

本社工場敷地内に第 4 倉庫新設

2010

（平成 22 年）

3 月

株式会社ミヤマエと取引開始

2015

（平成 27 年）

1 月

型枠内面強化工法で国土交通省新技術提案
NETIS に登録

2017

（平成 29 年）

4 月

造船艤装品自動溶接加工開始

サンドブラスト

Sand Blust

小型～大型製品まで各種機器にて粗す、削る、ボカす、磨くなど、
ご希望の表面処理加工を施します。

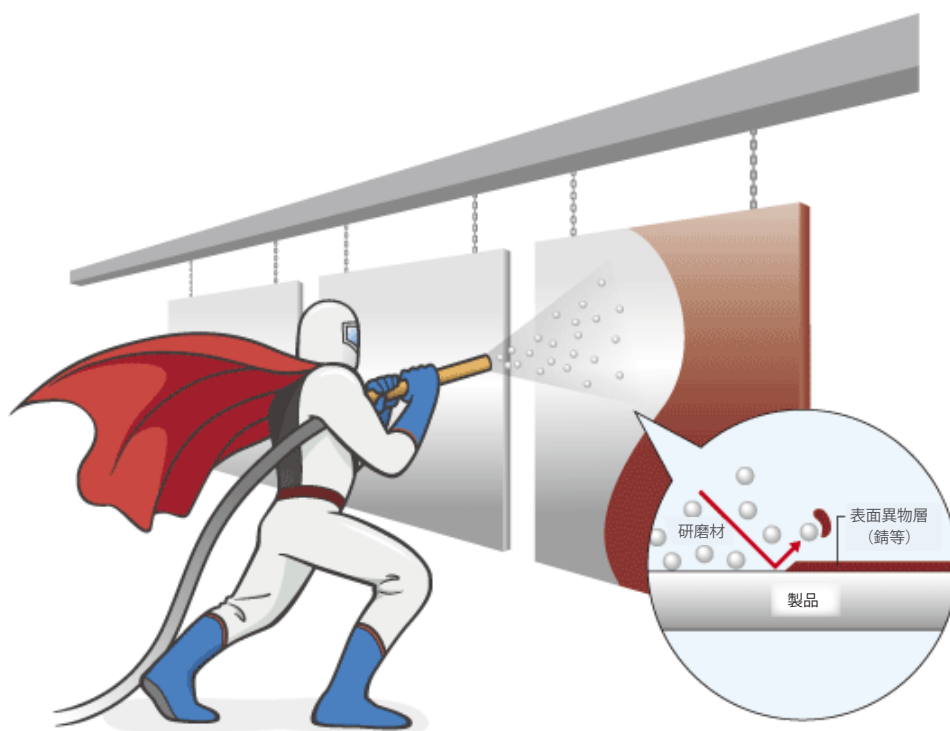
サンドブラスト

元来、天然の砂を研磨材として使用したことから、サンドブラストと呼ばれていました。材料コストも安く、砂地は塩化物を含まないので適材でしたが、作業時に発生するダスト対策やシリカ含有の砂にさらされると、珪肺症発症などの健康上の問題からシリカ含有サンドは使用禁止になり、その代りのブラスト用の媒体が多種多様に市場に広まったのです。

現在は造船、自動車、航空機、電気、電子機器、火力、水力、原子力、橋梁、ダム、鉄鋼、成型、ゴム樹脂、石材、木材、プラスチック、医療、衣類、アート、デザイン等々多くの産業で利用されています。

当社は、お客様の目的に応じた加工を FROSIO (Inspector Level III) や防錆管理士がご提案いたします。

また、当社は様々な研磨材を使用しております。随時テストブラストに関するご相談も受け付けております。



※ブラストイメージ図

用途に合わせたブラストの機械

ブラストには様々な用途に合わせた機械がありますが、大別すると機械式、エアー式に分けられます。
当社はエアー式ブラストを利用した手動型、自動型設備で加工を行っております。



大型ブラスト 大型の型枠や長尺製品などの物件にも対応可能
□広さ：L16m×W7.5m×H4.6m

主な設備



タッチパネル式
連続直圧ブラスト



パイプ内面ブラスト



自動パイプ外面ブラスト



小型直圧式ブラスト



重力式ブラスト



自動回転式直圧ブラスト

Grade(除錆度)

ブラストの処理基準は企業・産業・国内・国際標準など判定基準が設けられております。
※ JIS NASE SIS BS SSPC SPSS(J SRA) DIN AS ISO etc

例) ISO 8502の処理グレード(索地調整基準)

Sa1	スリーブ	Fine	1 に等しいか、2 まで (2 は除く) の粗さ
Sa2	コマーシャル	Medium	2 に等しいか、3 まで (3 は除く) の粗さ
Sa2・1/2	ニヤーホワイトメタル		
Sa3	ホワイトメタル	Course	3 に等しいか、4 まで (4 は除く) の粗さ

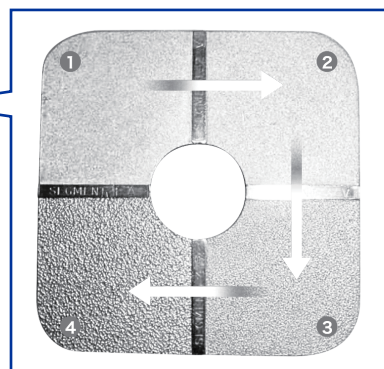
一般的な判定方法

■ ISO 8503-2 コンパレーターによる表面粗度の判定。

■ ISO 8501-1 見本帳比較による処理グレード判定。

■ FROSIO検査員・防錆管理士が検査致します。

※ブラスト後、加工証明書を発行致します。



コンパレーター

テストブラスト

Test Blust

お客様の要望に応じて、研磨材の選定、素地調整、表面処理、バリ取り、除錆、ケレンなどブラストで可能なテストを当社スタッフが一緒にお手伝い致します。お気軽に御相談下さい。託送でのテスト加工も受け付けております。

診断基準

- ① 加工の目的を確認
- ② 投射対象物の材質を確認
- ③ 研磨材を選定
- ④ 研磨材の粒度を選定
- ⑤ 使用機器の選定
- ⑥ 投射圧力を選定
- ⑦ 投射距離を選定
- ⑧ 投射時間を選定
- ⑨ 投射角度を選定

アルミ板に研磨材を加えて同条件でブラストした一例



ブラスト無

ガラスビーズ

珪砂

ショット

研磨材 Abrasive

研磨材の種類は柔らかいものから硬いもの、形状や粒度など、多くの種類があります。

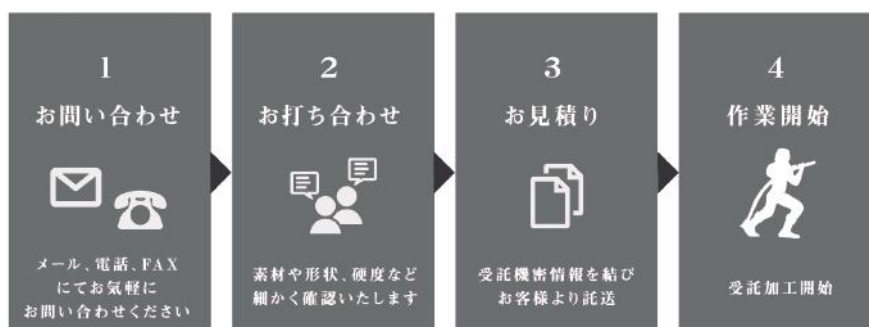
目的に合わせて研磨材を入れ替え、選定テストを行うことが出来ます。

研磨材の品質はISO11124-11127 標準に沿った製品をお勧めします。

※ 珪砂は 2016 年のJIS 規格変更分から健康上の問題を理由に削除されております。



ご相談から納品までの流れ



微細加工 Microfabrication

こんな事でお困りではないですか？

- | | |
|--|--|
| ☐ テストブラストを実施したい。 | ☐ 研磨材が工場に飛散することを避けたい。 |
| ☐ 自社整備では、出来ないものをアウトソーシング。 | ☐ ブラストの知識や経験がない。 |
| ☐ 自社生産ラインと異質なので、外部処理したい。 | ☐ 環境測定の定期検査が負担になる。 |
| ☐ 生産見込みが不透明で、設備投資に踏み切れない。 | ☐ 作業指導者、作業人員がいない。 |
| ☐ 緊急需要なので、今すぐ加工処理を要する。 | ☐ 研磨材の選定が出来ない。 |
| ☐ 設備導入は決めたが、現在の生産能力に間に合わない。 | ☐ リスク回避を考えて。 |

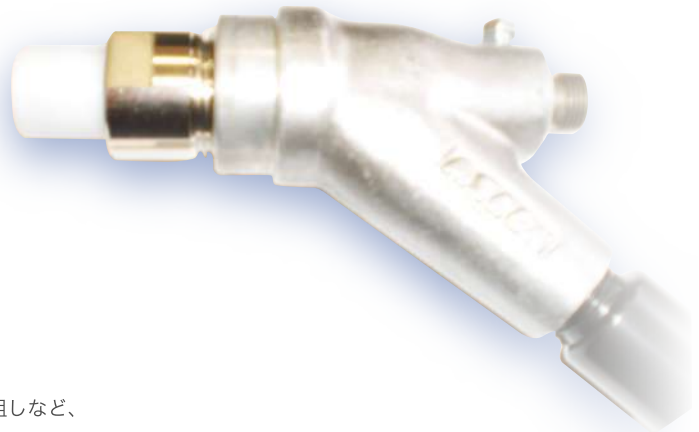
ブラスト加工に携わって 40 年！

【主依頼先】電機メーカー、自動車電装部品、造船、鉄工、石材など

微細な加工品から大型製品まで
ブラストのことなら
OKA@AKIに御相談下さい。

金属加工品、射出成形品、樹脂加工品、ゴム製品、セラミック品など、
お客様の希望に応じた加工処理を行います。

バリ取り、エッチング処理、ボカシ処理、梨地仕上げ、不純物除去、被膜剥し、面粗しなど、
製品の材質や加工の目的に応じてお客様と一緒に研磨材を選定し、加工処理を決定致します。



..... 少ロットから量産品、臨時対応など、お気軽に御相談下さい



Painter



Painting 塗装

ブラスト後の防錆塗装、重防食塗装を行っております。

熊本工場には屋内外に広い塗装スペースを

確保しており、大型製品や大型物件に対応できます。

造船塗装での実績は多くのお客様に高い評価を頂いております。

また自社オリジナル自動塗装機にて配管パイプなどの内外塗装も可能です。

お気軽にお問合せ下さい。ブラスト、塗装に関する

ISO基準に準拠した検査を行う国際資格FROSIO検査員Level III在籍

塗装プロセスに OKAGAKI の技術と品質を !!



パイプ側面自動塗装器



パイプ内面自動塗装器



塗装中



ZRC 常温亜鉛メッキ



NETIS 商品



屋内二次保管



広い屋外塗装スペース



屋外塗装可動テント



屋内塗装ブース

Welder



Welding

溶接
ものづくり

オイルタンカー船の配管製作から加工までを主に行っております。

国際基準での厳しい検査をクリアした生産体制と
造船で培った経験でお客様のご要望にお応えいたします。

製作、組立、板金、改造、補修など何でもご相談ください。

有資格者多数在籍。

製作、加工プロセスに OKAGAKI の技術と品質を !!



鋼管自動切断機



フランジ組付け機



フランジ自動溶接機



設備製作



加工機製作



資格者



ブラスト事例 Showcasing Examples

バイクや車のレストア(除膜、除錆など展示会で大反響の仕上がり)



精密加工品(表面处理、除膜、実験)



トンネルや消波ブロック等の鋼製型枠(除錆、板金、塗装、メンテナンス)



鋼製パレットケースの再生(除錆、除膜、板金、塗装)



焼鈍(除錆及び焼け取)



タワークレーン(除錆、除膜、水性塗装)



鉄鋼所製缶品(塗装前下地処理Sa2 1/2グレード)



Rental Warehouse

Rental Warehouse 貸倉庫

荷物の保管、作業スペースとしてご利用ください。

各倉庫には警報システムが設置してあり、

セキュリティ対策も万全です。

空き情報はお電話にてご確認ください。

※借地あります。



第1倉庫

床面積(登記上)	931.00 m ²
軒高	9.0m
建物の幅と奥行	19m×49m
開口部 シャッター	2箇所(5m×5m)
設備	ホイストクレーン (2.8t×17.3m)
建築年月	平成9年9月



第2倉庫

床面積(登記上)	744.62 m ²
軒高	8.0m
建物の幅と奥行	15m×49m
開口部 シャッター	3箇所(4.73m×4.72m)
設備	ホイストクレーン2台 (2.0t×6m×14m)
建築年月	平成11年8月



第3倉庫

床面積(登記上)	931.00 m ²
軒高	9.5m
建物の幅と奥行	19m×49m
開口部 シャッター	3箇所(5.73m×4.72m / 4.73m×4.72m)
設備	ホイストクレーン (2.8t×17.3m)
建築年月	平成14年9月



第4倉庫

床面積(登記上)	931.00 m ²
軒高	9.5m
建物の幅と奥行	19m×49.15m
開口部 電動シャッター	(5.5m×6.5m)
設備	ホイストクレーン (2.0t×20m×60m)
建築年月	平成19年3月



テント倉庫

床面積(登記上)	249.38 m ²
軒高	4.8m
建物の幅と奥行	12.4m×20.0m
開口部 シャッター	2箇所(3.8m×4.0m / 4.0m×3.5m)
設備	
建築年月	



T r a n s p o r t

Transport 輸送

車両手配、お気軽に御相談下さい。

業務提携先運送会社によるネットワークで

4トン、増トン、トレーラなど九州一円の手配が可能です。

通行許可などのご相談も対応致します。



荷役業務もお気軽にご相談ください。



Map & Access

【本社工場】

〒822-0152 福岡県宮若市沼口 1367-1

TEL : 0949-52-2516 FAX : 0949-52-2529



【熊本工場】

〒865-0120 熊本県玉名郡和水町久井原 899

TEL : 0968-86-4755 FAX : 0968-86-4746



【有明事務所】

〒869-0113 熊本県玉名郡長洲町有明 1 番地 ジャパンマリンユナイテッド(株)有明事業所内



SDGsへの取り組み

SDGsとは？

2015 年国連サミットで採択された
「持続可能な開発目標」で 2030 年までの
国際社会 が目指す目標であり、
実現するための 17 項目で構成されています。



私達の企業理念 Grow up は、国連で採択された SDGs の考え方に重なるものがあります。
業務を通じて私達は以下の 4 つに取組みます。

持続可能な開発目標の項目

OKAGAKI での取り組み



包摂的かつ持続可能な経済成長及び全ての
人々の完全かつ生産的なディーセント・
ワークを推進する。

業務を通じて、個人と会社が共に
Grow up できる企業を目指します。



国内及び各国間の格差を是正する。

業務を通じて年齢、性別、国籍
問わず働ける環境づくりを目指します。



持続可能な消費と生産のパターンを
確保する。

業務を通じて製品ライフサイクルを
延ばし、再利用による廃棄物削減に
取り組めます。



海と海洋資源を持続可能な開発に向けて
保全し、持続可能な形で利用する。

業務を通じて沿岸域及び海域の
保全事業、水産資源の回復事業に
取り組めます。



G r o w u p

全ての業務を通じて出来ることを探求、追求すること。

社員が自主性を持ち、出来ることを考え取り組むこと。

今日までの経験だけを常識とせず、常識を疑うこと。

会社は自己実現の場、社員の成長こそが社財である。